

図書館通信

市貝町立図書館
〒321-3423
栃木県芳賀郡市貝町 市塙147
TEL 0285-68-4380
URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと ブログはこちら



9月の催しもの

● 図書館で一緒に遊びましょ 10:30～

土曜日は図書館でスタッフと一緒に遊ぼう

♥ 5日 プロペラだこを作って回そう！

◆ 12日 いっとファームくらぶ

「はかってみよういもの大きさ！」

♣ 19日 パネルシアターでおはなし会

♠ 26日 ふるさと民話あれこれ

● ダンボの会のおはなし会

27日(日)10:30～11:30 おはなしコーナー

絵本の読み聞かせ、手あそび、おりがみ等



市貝の里山で ブルーベリー狩り



ツイッターでも
情報配信中！



市貝町立図書館『いっとくん』 @ittokun_ichikai



◎ 9月から図書館の開館時間が
9:30 ～19:00にもどるよ～
よろしくお祈いします。

◎ **YA (ヤングアダルト) 図書**をリニューアル！
中学生や高校生にオススメの本をチョイス！
読んでもらえるとうれしいなあ♥

◎ **新着CD**入ったよ～

- ・THE BEST/BLUE IMPACT
三代目J Soul Brothers
- ・希望～Songs for Tomorrow
三宅由佳莉
- ・影山英男の勉強しようぜ～九九のうた
(他全11タイトル)

夏休み後半戦の18日、中央公民館と合同で総勢42名、駒込にある永山農園へブルーベリー狩りへ行ってきました。ピカピカのサッチャンバスに揺られること10分、緑に囲まれた里山で無農薬のブルーベリーに舌鼓をうち、お土産にもたくさん摘むことが出来ました。

農場主さんからは、暑い日にぴったりの、スイカと手作り梅ジュースもごちそうになり、自然の恵みを満喫したひと時を過ごしました。

来年、参加してみませんか？



図書館カレンダー

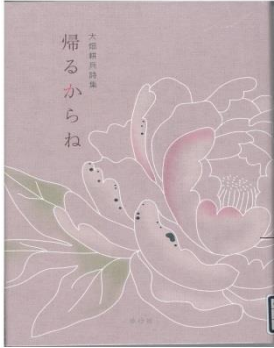
9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

(■ …休館日)

帰るからね 大畑耕兵詩集紹介

8月の下野新聞「しもつけ文芸」前期賞を受賞された「帰るからね」は、闘病生活中の妻の願いそのもの。きっと帰ってこれると家族も信じていたのです。

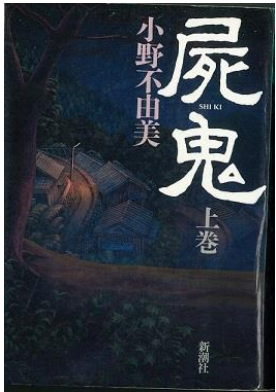


館長推薦の詩集本として、新刊コーナーに入りました。郷土の詩人・市貝町在住の大畑耕兵先生の「帰るからね」を深い思いを胸に秘めながら、読んでみてください。

さりげないその一言に、詩の持つ独特の哀切さや美しさを感じていただけたら幸いです。

余命半年を受けてから1年5か月で旅立つまでを詩化した詩集本が、命日である8月6日にあわせて発行されたと聞き、さらに胸が熱くなりました。

スタッフのおすすめ本



残暑の厳しい夏...この時期になるといつもこの本が読みたくなります。

少し悲しい、夏が終わる頃にぴったりなホラー作品です。

『屍鬼』
小野不由美・著
新潮社

人口わずか千三百、三方を尾根に囲まれ、未だ古い因習が残る外場村。猛暑に襲われた夏、悲劇は唐突に幕を開けた。

連続する死の真相は新手の疫病か、それとも.....

ホラーですが、壊された道祖神、夜闇について越してきた家族、医者と寺の複雑な関係など謎が多く、推理要素も強いので怖いだけではありません。

また、同作者の著書『残穢』(新潮社)は映画化が決定しており、ホラーブームが再びくるかもしれないと、ひそかに期待しています。

エプロンシアター&パネルシアター 貸出しのご案内

市貝図書館ではエプロンシアター・パネルシアターを貸出ししております。



🌸 貸出対象 🌸

- 市貝町内の
保育所・保育園・幼稚園・学校・
福祉施設等の団体
- 市貝町内の読み聞かせボランティア等の団体



🌸 貸出期限 🌸

一週間(予約が無ければ一週間延長可能)

事前に電話予約の上、申請書にご記入いただき、図書館にて貸出しいたします。

是非ご利用くださいね！

館長のひとりごと



日本人は勤勉で「遊ぶ」というと昔から悪いこと、怠け者というイメージを持っています。働くことが一番尊いこととして昔は「朝は朝星、夜は夜星・昼は梅干(星)を食べて頑張った」というほど、日本人は勤勉だったのです。近年になって余暇活動が見直され、遊ぶことの大切さが重要視されはじめました。ひと昔前先輩に聞いた話だが、総理府で実施した「国際青年の船」で日本の青年の遊び下手が実証されました。日本の青年は、はじめ話しをしたり、本を読んだりしていたがそのうちやることがなく、酒飲みを始めてしまい、活動が行き詰ってしまったようです。ドイツの青年は、サッカーボール1個あればいろいろな形でゲームにし、何時間でも遊ぶことができたそうです。日本の青年では、できない半面を教えてもらった研修だったようです。私は現在、遊びを通し人間として生活していく上で大切なことは何かを、子どもたちと一緒に真実に模索しています。

素敵な老後を迎えるために.....